

『リデュース』 軽量化・薄肉化等による使用量削減

素材	2010年度目標 (2004年度比)	2008年度 実績(参考)	2009年度実績
ガラス びん	1本あたりの平均 重量を 1.5%軽量化	1本あたり平均重量 1.4%軽量化	1本あたりの平均重量 1.8%軽量化 参考：新たに軽量化され た重量は、1,472トン 6品種16品目
PET ボトル	主な容器サイズ・用 途ごとに1本あたり の重量 3%軽量化	主な容器サイズ・用途 計15種の内 13種で 0.1~11.0%軽量化	15種の内 13種で 0.3~15%軽量化 8種で目標の3%を達成
紙製容器 包装	2%削減	1.3%削減	11.4%削減
プラス チック 製容器 包装	3%削減	4.4%削減	6.4%削減 今年度より削減率とし て算出

『リデュース』 軽量化・薄肉化等による使用量削減

素材	2010年度目標 (2004年度比)	2008年度 実績(参考)	2009年度 実績
スチール 缶	1缶あたり平均 重量で 2% 軽量化	1缶あたり平均 重量 2.0% 軽量化	1缶あたり平均重量 3.4%軽量化
アルミ 缶	1缶あたり平均重 量で 1% 軽量化	1缶あたり平均重量 0.8% 軽量化	1缶あたり平均重量 2.10%軽量化
海外の原紙メーカーと連携し、紙の薄肉化に向けて最終確認を行っている。			
飲料用 紙容器	重量を平均 1% 軽量化	現状維持	現状維持
段ボール	1m ² あたりの重量 を 1% 軽量化	1m ² あたり 0.9% 軽量化	1m²あたり平均重量 1.4%軽量化

『リユース』事業者による3R推進の2009年度実績

Reuse
リユース

●リターナブルシステムの調査・研究

ガラスびん

●モデル事業の展開

ガラスびんリサイクル推進協議会では、平成21年度環境省地域省エネ型リユース化モデル事業として、居酒屋チェーン企業と連携して、約400店舗を対象としたP B清酒のリユース化事業の取り組みを行いました。

●研究会の実施

量販店市場におけるリターナブル商品の取り扱いや、空びんの回収体制の可能性について、主要な量販店・びん商連合会と研究会を実施しました。